

医療倫理学

1 単位 (必修) 3 年 (後期)

Medical Ethics

伊賀 弘起 (授業責任者)・教授 / 口腔保健学科 口腔保健基礎学講座, 大石 美佳・講師 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業目的】医療・歯科医療における倫理の重要性を理解し、歯科衛生士の義務と責任に関する基本的な知識、態度及び考え方を学ぶ。

【授業概要】新しい医の倫理の原則を学ぶとともに、歯科衛生士に求められる職業人としての心構えやインフォームドコンセントに基づいた患者対応、医療現場で必要となるコミュニケーション技術や行動科学を学習する。

【授業形式】講義

【授業方法】講義形式、視聴覚教材、プリントを適宜用いる。

【授業場所】水曜 1 時限目 第 5 講義室

【履修上の注意】医療倫理学の授業では授業計画の「内容」の欄に各講義事項のキーワードを掲載している。①受講者は各回のキーワードについて事前に予習して理解した内容を簡潔に纏めること。②受講者は毎回受講後に学習成果を基にキーワードについて再度内容を簡潔に纏めること。また予習時の内容と復習時の内容を比較して学習成果を確認すること。③試験は全講義数の 2/3 以上の出席を満たしている者に対して行う。④予習、復習をすることが出席評価に含まれる。

【到達目標】

1. 医の倫理に関する宣言や法規を概説できる。
2. 患者の権利を説明できる。
3. 歯科衛生士に必要な倫理観を説明できる。
4. 医療現場を取り巻く人間関係を説明できる。
5. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明できる。
6. 患者の自己決定権を説明できる。
7. QOL の概念及び歯科医療における QOL の捉え方を説明できる。
8. 生活行動と保健行動について説明できる。
9. 患者の症状をどのように理解したらよいか説明できる。
10. チームアプローチの意義と必要性を説明できる。
11. 生命倫理の意味とその課題を説明できる。
12. 医療コミュニケーションの目的と技法を説明できる。
13. 医療面接の重要性を説明できる。
14. 医療面接を実践できる。

【授業計画】

大項目	内容	到達目標	担当
1. 医療倫理とは	医療倫理に関連する宣言・法令	1,2	伊賀

2.	医療従事者の基本的義務	パターナリズム, 患者中心の医療, 歯科衛生士の法的義務, 役割	”	”
3.	歯科衛生士としての心構え	歯科衛生士の立場と視点	3,4	”
4.	”	臨床実習・臨地実習での人間関係	”	”
5.	インフォームドコンセント	インフォームドコンセントとは, インフォームドチョイス, セカンドオピニオン	5,6	”
6.	Quality of life (QOL)	QOL の定義, QOL と歯科医療, QOL の向上のために	7	”
7.	行動科学	行動科学とは 医療現場における人の行動特性	8,9	”
8.	”	患者の行動特性 医療従事者の行動特性	”	”
9.	チームアプローチ	チームアプローチの意義と必要性 歯科医療現場でのチームアプローチ 他種職とのチームアプローチ	10	”
10.	生命倫理	生命倫理の論点と課題	11	”
11.	医療現場におけるコミュニケーション	接遇 患者理解のためのコミュニケーション コミュニケーションの技術 守秘義務	12	”
12~15.	患者面接	医療面接, 相互演習	13,14	伊賀, 大石

【成績評価】筆記試験の評価点により総合的に判定する。評価は、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

【再試験】必要に応じて行う。

【教科書】最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第 1 版 5 刷, 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版 2007

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217226>

【連絡先】

⇒ 伊賀 (口腔保健学科・教授室, 088-633-7963, iga@dent.tokushima-u.ac.jp)

MAIL (オフィスアワー: 口腔保健学科第 1 研究室 月~金 17:00~18:00)

⇒ 大石 (088-633-9181, mi@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 総合歯科 月~金 18:00~19:00)